

閉会挨拶

たなか としみ
田中 俊美

熊本市副市長

開会挨拶のアーカイブ視聴は[こちらから](#)：



熊本市副市長の田中でございます。本来であれば、大西熊本市長がこの場に駆けつけて、ご挨拶を申し上げるべきところですが、公務の都合により参ることができませんでした。そこで、私が市長からご挨拶を預かつてまいりましたので、代読をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。令和7年度高齢社会フォーラムの閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。まずもって、本日エイジレス章及び、社会参加章を受章されました皆様方に心からお祝いを申し上げます。また、日頃から様々な地域活動や世代間交流を通じて、地域コミュニティの活性化にご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、近年の人口減少や少子高齢社会の加速化は、本市においても例外ではなく、高齢者人口がピーク

を迎える令和22年頃には3人に1人が高齢者となることが予測されております。このような中、みんなのふるさとをつくるをテーマに、本市において本フォーラムが開催され、パネルディスカッション等を通して、高齢者だけではなく、誰もが年齢にとらわれず、自らの役割を見出し、地域と共に生きることの意義や世代を超えて支え合いながら暮らすことができる地域づくりの可能性を感じることができましたことは、今後の本市の施策はもとより、ご参加をいただきました皆様の活動にとりましても、大変有意義なものであったと考えております。本市としましては、医療、介護、福祉の関係者の皆様に加えまして、地域住民、ボランティアなど多様な主体が連携することで、人と人とのつながり、お互いに支え合う地域共生社会の実現に向け取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、なお一層のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

早いもので熊本地震から9年が経過しました。本市は、皆様からのご支援により、着実に復興の歩みを進めております。改めまして、これまでご支援を賜りました、全ての皆様方に対し、厚くお礼を申し上げる次第です。皆様方には、ぜひこの機会に震災から力強く復興している熊本の街の姿をご覧いただければ幸いに存じます。結びに、内閣府をはじめ、開催にあたりご尽力をいただきました関係者の皆様方に厚くお礼を申し上げますとともに、本日お集まりの皆様の今後ますますのご健勝ご多幸を心から祈念申し上げまして、ご挨拶いたします。令和7年10月29日熊本市長大西一史代読でございます。本日の開催誠におめでとうございます。

